

続く被災地支援 検討進む津波対策

東日本大震災

登別市連合町内会に 寄せられた義援金の 総額は1,891万3,236円

登別市連合町内会が行った、東日本大震災の被災者支援のための義援金募金活動では、95町内会、1万4,525世帯から、1,891万3,236円の善意が寄せられました。

寄せられた義援金は、100万円を登別・白石姉妹都市交流推進協議会に、1,791万3,236円を登別市共同募金委員会（赤い羽根）に寄託しました。

ご協力ありがとうございました。



被災地への支援物資は 549人から 2万9,125点

3月22日～4月30日まで、市民の皆さんに協力をお願いしました支援物資は、549人から2万9,125点が寄せられました。

ご協力ありがとうございました。



物資	数量
バスタオル	994枚
タオル	6,639枚
毛布	522枚
ボックスティッシュ	1,777個
トイレトーパー	3,150個
乳児用紙おむつ	6,399個
大人用紙おむつ	9,512個
ブルーシート	132個

たくさんの善意が寄せられました

姉妹都市・宮城県 白石市への義援金は 347万8,043円

登別・白石姉妹都市交流推進協議会が4月30日まで募った白石市への義援金は、347万8,043円となりました。

ご協力ありがとうございました。



日本赤十字社に、 266万4,781円 赤い羽根共同募金会に、 2,738万3,263円

日本赤十字社北海道支部登別市地区には5月13日現在、266万4,781円の義援金が寄せられています。

また、登別市共同募金委員会にも、5月18日現在、2,738万3,263円の義援金が寄せられています。

◎引き続き義援金を募っています

日本赤十字社北海道支部登別市地区、登別市共同募金委員会は、義援金を9月30日まで受け付けていますのでご協力をお願いします。

そのほかにも 市の防災対策に 1,080万円の寄附

そのほかにも、登別市の防災対策にあててほしいと、市民の方から総額1,080万円の寄附がありました。

寄附金は、災害用エアートントの購入費用など、市の防災対策に使わせていただきます。

ありがとうございました。

今回の震災を踏まえ
**『大津波における高
台の避難場所』**
の設定作業を進めています

3月11日に発生した東北地方における津波は、想像を絶する大津波でした。

登別市には、6層の大津波が予想されていましたが、幸いにもこれを下回るものとなりました。

しかし、本当に6層の津波が来るとしたら、大津波警報が発令されたときには、とにかく高台に逃げなければなりません。

市は、今回の震災での避難指示などの反省点の整理を行っています。また、登別市震災対応市民連絡会議（市、登別市連合町内会、登別市社会福祉協議会）では、今後、国や北海道の『防災計画』、『津波浸水予想図』の見直しを踏まえて、避難伝達や避難場所のあり方を検討していきます。緊急措置として『大津波における高台の避難場所』を設けることとし、町内会などを通じて、地域ごとに設定する作業を進めていますので、ご協力をお願いします。